

令和7年度東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点
「グローバル共生に向けた東南アジア地域研究の国際共同研究拠点」
年次研究成果発表会 プログラム (各演題、発表12分、質疑3分)

日時: 令和8年2月12日(木)16時～18時10分 13日(金)9時30分～17時30分

場所: 稲盛財団記念館3階大会議室 (Zoomミーティング)ハイブリッド開催

2月12日(木)16:00～18:10			
パイロットスタディセッション		司会: 帯谷知可・木村里子 (京都大学東南アジア地域研究研究所)	
16:00 - 16:05		趣旨説明	石川 登 (京都大学東南アジア地域研究研究所)
16:05 - 16:20	パイロットスタディ	課題1 東北アジア歴史財団・研究委員 趙浩衍 東南アジア地域研究研究所・連携研究員	近世と近代の交錯:ベトナム第一国立公文書館所蔵南定省務本県百穀社において起きた事件に関する報告書の概観
16:20 - 16:35	パイロットスタディ	課題2 京都大学大学院・アジアアフリカ地域研究研究科・大学院生 森下 航平	ブータン農村の小規模校における「教育の質」改善のための基礎調査
16:35 - 16:50	パイロットスタディ	課題3 京都大学大学院・アジアアフリカ地域研究研究科・大学院生 菊川 翔太	在外ブータン人コミュニティに関する越境型地域研究: 脱領域化と再領域化に着目して
16:50 - 17:05	パイロットスタディ	課題4 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・大学院生 柴山 元	台湾におけるインドネシア移民キリスト教コミュニティの成立と展開: 派遣元教団に焦点を当てて
17:05 - 17:20	パイロットスタディ	課題5 京都大学農学研究科応用生物科学専攻・修士課程 柴田 万枝子	社会ネットワーク分析法を用いたタイ国タリボン島におけるジゴンの個体間関係の可視化
17:20 - 17:35	パイロットスタディ	課題6 京都大学大学院理学研究科・博士課程後期 築地 夏海	北部タイのゾウ飼育施設におけるアジアゾウとヒトの相互行為分析に向けた行動観察調査
17:35 - 17:50	パイロットスタディ	課題7 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・大学院生 木戸 七彩	"boof"[フ](功德)を積みカトリックたち—北タイ山地のスコ—カレン族村における教会政治とコメの奇運に着目して—
17:50 - 18:10		質疑応答・討論(20分)	
2月13日(金)9:30～17:30			
9:30 -		開会	石川 登 (京都大学東南アジア地域研究研究所)
9:30 - 9:40		所長挨拶	三重野文晴 (京都大学東南アジア地域研究研究所)
9:40 - 9:50		趣旨説明	石川 登 (京都大学東南アジア地域研究研究所)
セッション 1			
司会: 坂本龍太・山本博之 (京都大学東南アジア地域研究研究所)			
9:50 - 10:05	インキュベーション	課題8 京都大学IPS細胞研究所 特命准教授 坂野 晴彦	インドネシア神経難病多発地域における水環境調査
10:05 - 10:20	インキュベーション	課題9 東北学院大学教養教育センター・講師 西田 昌之	「地べた」の冷戦史: タイとベトナムにおける草の根の文化・国家論
10:20 - 10:35	インキュベーション	課題10 愛知県立大学外国語学部国際関係学科・准教授 藤倉 哲郎	日越地方間連携による教育実践に着目したベトナム農村社会における教育訓練の役割
10:35 - 10:50	インキュベーション	課題11 大阪公立大学大学院法学研究科・教授 永井 史男	競争的権威主義体制下での地方自治と政策波及: インドネシア、タイ、フィリピンの比較
10:50 - 11:05	インキュベーション	課題12 岐阜大学応用生物科学部・准教授 広田 聡	ラオス、ベトナム農山村の植物資源の残存要因に関する探索的研究
11:05 - 11:20	インキュベーション	課題13 広島大学人間社会科学部研究科・准教授 伊藤 奈保子	インドネシア・ポロブドゥールのレリフを中心とした総合的研究
11:20 - 11:35		質疑応答(15分)	
11:35 - 13:00		昼食(85分)	
セッション 2			
司会: 甲山 治・山田千佳 (京都大学東南アジア地域研究研究所)			
13:00 - 13:15	インキュベーション	課題14(最終) 京都大学防災研究所・准教授 中野 元太	地球規模で継続・連携し防災に新たな展望を—日本、メキシコ、マレーシアのコミュニティエンバウメントの好事例と課題を分かち合う—
13:15 - 13:30	インキュベーション	課題15(最終) 東北大学大学院農学研究科・教授 田中 哲也	東南アジアにおけるマダニ媒介性感染症の実態解明と簡易迅速な診断法の構築
13:30 - 13:45	インキュベーション	課題16(最終) 日本大学生物資源科学部・専任講師 佐々木 綾子	山村の景観形成においてヤマチャが果たした機能の検討にむけた分野横断的研究
13:45 - 14:00	インキュベーション	課題17(最終) 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授 片岡 樹	重層信仰論再考—次世代の東南アジア宗教論に向けた作業仮説構築の試み—
14:00 - 14:15	インキュベーション	課題18(最終) 山形大学人文社会科学部・教授 今村 真央	人権の時代の東南アジア
14:15 - 14:30	地域情報学シード	課題19 国立医薬品食品衛生研究所・生薬部・部長 伊藤 美千穂	インドネシア・デジタル沈香研究センターの構築
14:30 - 14:45		質疑応答(15分)	
14:45 - 14:55		ブレイクタイム(10分)	
セッション 3			
司会: マリオ ロベス・櫻山武浩 (京都大学東南アジア地域研究研究所)			
14:55 - 15:10	フィールド滞在型	課題20 大阪大学人文学研究科・教授 村上 忠良	大陸部東南アジアにおける「死のかたち」—タイ・ラオス・カンボジアの葬送実践の比較研究
15:10 - 15:25	フィールド滞在型	課題21(最終) 岡山大学学術研究院・教授 生方 史敷	情報化時代における東南アジアの辺境社会
15:25 - 15:40	フィールド滞在型	課題22 秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科・教授 岸 健太	フェミニスト経済的運帯による都市女性起業の強化: バンジャルマシン市における女性農業グループ(WFG)を通じた実践型研究
15:10 - 15:25	客員共同研究	課題23 神戸大学大学院海事科学研究科・助教 岩田 高志	タイのカツオクジラの特殊な採餌様式に関する国際共同研究
15:25 - 15:40	客員共同研究	課題24(最終) 政策研究大学院大学・准教授 高木 佑輔	フィリピン大学と日常の政治—路上、教室と大統領執務室
15:40 - 15:55	資料共有	課題25 東京大学大学院教育学研究科・助教 須藤 玲	東ティモールの地域言語による刊行物の保存整理および言語文化コレクションの構築
15:55 - 16:10	資料共有	課題26(最終) 京都大学東南アジア地域研究研究所・連携准教授 河野 元子	海峡植民地年次報告書統計資料のデータベース化とオンライン公開のこころみ
15:55 - 16:10	資料共有	課題27(最終) 大阪大学人文学研究科・准教授 日向 伸介	タイ葬式本の資料共有化とその学術利用に係る実践的研究
16:10 - 16:25	インキュベーション	課題28(最終) 静岡県立大学国際関係学研究科・助教 吉田 航太	ジャカルタ首都圏の小規模経済活動に対するデジタル化のインパクト: 地域社会の多様性解明に向けたマクロとミクロの融合的研究
16:25 - 16:40		質疑応答・討論(15分)	
16:40 - 16:50		ブレイクタイム(10分)	
16:50 - 17:30		講評・ディスカッション(40分)	
17:30		閉会のことば (京都大学東南アジア地域研究研究所)	
意見交換会 18:00～20:00 会場: 中会議室			
18:00		閉会のことば (京都大学東南アジア地域研究研究所)	
20:00		閉会のことば (京都大学東南アジア地域研究研究所)	